

兵庫県産テントウムシ類 (第2報)*

高橋 寿郎

Coccinellid-Beetles of Hyōgo-Prefecture (II)

by Tosio Takahasi

筆者兼に上記表題の下に兵庫県産テントウムシ類に就いて報告したが其の後追加すべき種並びに産地が出たので此処に第2報として発表したい。

本文を草するに当り産地の御教示を頂いた大阪学芸大付属高校の山本義丸氏、種の同定に就いて御世話並びに御教示頂いた愛媛大学、久松定成氏の両氏に厚く御礼申し上げる。

I 兵庫県産テントウムシ類の追加種

1. *Rodolia narae* Lewis アカヘリテントウ、

ベニヘリテントウと同属で良く似ており、前背板と翅鞘の外縁だけ狭く赤紅色の種であるが山本氏に依り氷上郡柏原で採集されている。本種の卵、幼虫、蛹に就いては橋本氏の報文がある(1956)

(産地) 氷上郡柏原 (1Ex., 2-III-1951)

(分布) 日本(本州)

2. *Calvia quatuordecimguttata* Linné

シロジユウシホンテントウ

シロジユウゴホンテントウに良く似る、背面は明黄褐色で黄紋を有する。翅鞘の黄紋は7個が1・3・2・1の順に並ぶ。氷の山で1頭採集出来た。

(産地) 養父郡氷の山 (1Exp., 21-VII-1958)

(分布) 樺太、日本(本州、北海道)、ヨーロッパ、北アメリカ。

3. *Serangium japonicum* Chapin

本種は日本産(横浜、長崎)及び支那産(南京)を以つて新種として発表された(J. Washington Acad. Sci. 30: 269, 1940)のであるが其の後宮武氏はさらに本州、四国の産地を記録図も発表されている(Trans. Shikoku Ent. Soc. V, 7, pp. 114~115, 1957)、兵庫県からは初めての記録で同定は久松氏の手を経て宮武氏に依る。小形種で艶のある黒色、翅鞘点刻小さく前背板点刻はやや大きく細毛僅に有する、眼の附近から先端に及び黄褐色、頭部、口部も黄褐色である。体長、1.9mm。

(産地) 神戸市鳥原 (1Ex., 4-V-1952)

(分布) 日本(本州、四国、九州)、支那

4. *Hyperaspis asiatica* Lewis

ツマフタホンテントウ

本種の原因産地は長崎で(Ann. Mag. Nat. Hist. (6) X VII, p.33, 1896)分布としては本州、四国、九州であ

るが個体数極めて少い様で、兵庫県下からは勿論始めての記録である同定は久松氏で標本も同氏の手許にある。

体黒色光沢あり前背板側縁に沿ひ各々黄褐色紋を有し翅鞘先端にも各々黄褐色紋を1個ずつ有す。

体長、3mm.

(産地) 神戸市円生山 (1Ex., 18-V-1958)

(分布) 日本(本州、四国、九州)

5. *Menochilus quadripplagiatus* (Swartz)

南方系の種で斑紋の変異多く色々な forma に名がついている、南方に行くに従つて赤い紋が大きくなつて行く傾向にあるとのこと。

県下には今の所原形、f. *aulatus* Heyden, f. *hiugaensis* Kurisaki に近いもの、さらに forma の名のついていないものが夫々確認出来た、同定は全部久松氏の手を経て宮武氏に依る。

(i) 原形; 翅鞘肩部から縁にそい中央へと反対側翅鞘先端に向いカギの形の黄褐色の斑紋を有し中央やや後方に各1個の黄褐色斑紋あり。

(産地) 神戸市氷室町 (1Ex., 16-XI-1952)

(ii) forma のないもの; 斑紋は赤色、肩部のものはやや大きい。

(産地) 宝塚市仁川 (1Ex., 21-X-1956)

(iii) f. *aulatus* Heyden; 翅鞘中央後方の斑紋を缺く。

(産地) 養父郡氷の山 (1Ex., 25-VII-1959)

(iv) f. *hiugaensis* Kurisaki に近いもの; 斑紋赤色、翅鞘中央後方の斑紋は小さく余り大きくない。

(産地) 宝塚市仁川 (2Exs., 21-X-1956)、神戸市氷室町 (1Ex., 16-XI-1952)、山の街 (1Ex., 28-V-1953) 個体数はそう少くない種である。

(分布) 日本(本州、九州)、琉球、台湾、支那、満洲、印度、セレベス。

7. *Platynaspis lewisii* Crotch f. *obscura* Sicard

原形は前報文にて報告してある(12)、全体黒色、やや軟毛を前背板に有する、小形種、稀なようである、標本は久松氏の手許に保管されている。

(産地) 城崎郡香住町 (1Ex., VIII-1958)

(分布) 日本(本州)

* 第1報、兵庫県産、III, 4, p. 258, 1958, 兵庫県産甲虫相資料、14.

以下96ページへ

108ページより

II. 学名変更

1. *Stethorus japonicus* Kamiya

キアシクロヒメテントウ

前報文No. 5に *S. punctillum* Weise なる学名で報告したのであるが其の後神谷氏の研究に依り日本産本種とされているのは全部欧州産とは異るとして上記学名で命名記載された(神谷、昆虫、1959)。

III. 産地追加(番号は前報文の番号)

3. *Afissa admirabilis* Crotch トホシテントウ

(産地) 氷上郡神楽(1-IV-1951, 山本)

3. *Rodolia limbata* Motschulsky

ベニヘリテントウ

(産地) 氷上郡柏原(16-III-1951, 山本)

6. *Scymnus* (*Pullus*) *hilaris* Motschulsky ab. *awanus* Ohta

本種は既に高砂より記録されているが宍粟郡音水にて1頭採集出来た。

(産地) 宍粟郡音水(1Ex., 20-VI-1959) (宮武氏同定)

16. *Calliaria superba* Mulsant

ハラグロオオテントウ

(産地) 氷上郡柏原(30-V-1947, 山本)

18. *Coccinula crotchii* Lewis マクガタテントウ

(産地) 氷上郡生郷(23-VIII-1952, 山本)、同郡久下、佐治(山本)

19. *Coccinella septempunctata bruckii* Mulsant

ナナホシテントウ

(産地) 洲本市安乎町(20-VI-1948, 堀田、1959)

21. *Harmonia axyridis* (Pallas) テントウムシ

(産地) 洲本市安乎町(4-VIII-1949, 堀田、1959)

23. *Proplacea japonica* Thunberg

ヒメカメノコテントウ

(産地) 洲本市安乎町(3-VIII-1947, 堀田、1959)

24. *Synharmonia bissexnotata* Mulsant

ウスキホシテントウ

(産地) 神戸市山の街(1Ex., 7-VI-1959)、氷上郡柏原(1-XI-1950, 山本)

以上に依り兵庫県産テントウムシ類は38種産する事が現在迄にわかつた。(VII-1960)